2021/05/12(水)12:50

授業コード (Code)	科目名 (Class)	開講ｾﾒｽﾀｰ (Semester)	曜日・時限 (Day of the Week, Period)	単位数 (Credit)	授業担当者 (Instructor)
113004	一年次ｾﾐﾅｰ 101 (FYE工情報通信)	春学期	火曜1限 火曜2限	2.0	早川　博章

授業概要 (Course Outline)

この科目は秋学期に開講される「一年次セミナー102」と合わせ、新しく大学に入学した者を対象に、大学生活を成功させるための戦略と戦術を提供します。この科目をとおして学生は玉川大学における教育への積極的適応と同化をはかり、学修に対するモチベーションを向上させることが求められます。なお、授業では、①社会人としての自由と責任、特に、個人情報、データ倫理、AI社会原則等、②批判的思考方法と論理的解決能力の養成、③大学生としての基本的な読解力、文章力、コミュニケーション能力の養成、④大学4年間の学修戦略、⑤大学の支援資源の活用方法を集中的に学びます。

授業を通して修得できる力（Competency Goals）

知識・理解 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Cross-cultural Understanding	
	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解 Culture / Society / Nature	
汎用的技能 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル Mathematics	
	情報リテラシー Information Literacy	
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力 Problem Solving	
態度・志向性 Personal Qualities	自己管理力 Self-management	○
	チームワーク Teamwork	
	リーダーシップ Leadership	
	倫理観 Ethical	
	市民としての社会的責任 Social Responsibility	
	生涯学習力 Lifelong Learning	

到達目標 (Objectives)

〇ユニバーシティ・スタンダード科目、専門科目を問わず、大学で学ぶ学問の重要性を他者に説明することができる。
〇4年間、規則正しく計画的に学修する習慣を身につけることの意義とそのための技術を具体的に述べることができる。

先行履修科目の有無は、学生要覧で確認すること。

授業計画 (Course Schedule)

	テーマ(Theme)
第1回	オリエンテーション
第2回	なぜ大学で学ぶのか
第3回	時間管理の技術—有意義な大学生活の送り方
第4回	日本語運用能力テスト
第5回	セルフ・マネジメントの技術Ⅰ—犯罪から自身や家族をどう守るか
第6回	効果的な学修方法
第7回	ノートをとる
第8回	試験を受ける
第9回	①中間試験 ②中間試験サーベイ
第10回	読書の方法
第11回	文章作成の方法Ⅰ：レポート、エッセイの書き方（基礎）
第12回	文章作成の方法Ⅱ：レポート、エッセイの書き方（演習）

第13回	文章作成の方法Ⅲ：レポート、エッセイの書き方（演習）
第14回	文章作成の方法Ⅳ：レポート、エッセイの書き方（演習）
第15回	セルフ・マネジメントの技術Ⅱ―大学生の精神（こころ）とからだ

教科書 (Textbooks)

書名 (Title)	著者名 (Author)	出版社 (Publisher)	ISBN コード (ISBN Code)
『大学生活ナビ』（第二版）	小原芳明（監） 玉川大学（編）	玉川大学出版部	9784472404337
『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』	松本茂　著 河野哲也　著	玉川大学出版部	9784472403439

参考文献 (Reference Books)

書名 (Title)	著者名 (Author)	出版社 (Publisher)	ISBN コード (ISBN Code)
玉川大学学生要覧「学生生活ガイド」			
薬物乱用防止にかんする資料			
シラバスにかんする資料			

成績評価方法 (Grading Criteria)

成績評価の種類 (type)	割合 (Percentage)	評価基準 (Grading Criteria)
試験 (Exam)	50%	○設問に対して、学修内容の要点を整理したうえで、自己の見解を他者に説明することができる。【中間試験：25%　定期試験：25%】
レポート (Report)		
授業における取り組み (Class Participation)	10%	○学修内容（授業外学修を含める）をふまえての発表や発言ができる。 ※他者の意見と対比させながら、自己の見解をまとめられているかという点も評価の観点とする。
課題等の取り組み (Assignment.)	10%	○毎回提示される課題について、取り組み内容と成果を口頭および文章（方法はその授業回ごとに指定）で報告ができる。
ポートフォリオの作成 (Portfolio)		
備考 (Note)	30%	学修ポートフォリオ（30%） ○毎回の学修内容（授業外学修を含める）について、「学修ポートフォリオ」を使用して整理することができる。 ※整理した内容について自省を行い、今後に向けた自らの課題や目標を設定できているかという点も評価の観点とする。